

事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	総合文化会館	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	飯田三郎資料展示室移転整備事業	事業番号	12908

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	令和3年度及び4年度において、展示物の調査及び移転先の改修を行い、図書館内にある飯田三郎資料展示室について、総合文化会館内に新資料展示室を開設する。
成果	総合文化会館内に新資料展示室を移転させることにより、多くの市民に公開する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3	資料展示室移転のための、現資料展示室展示物の調査及び新資料展示室に関する設計等企画制作						
	R4	資料展示室移転先の改修及び移転完了						
	R5	-						
事業費と内訳	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
	事業費			1,496	14,960		16,456	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,496	14,960		16,456
		一般財源						
	人員(人工)			0.19	0.19		0.38	
職員費(人員×7,704千円)			1,464	1,464		2,928		
総事業費			2,960	16,424		19,384		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	飯田三郎資料展示室の移転進捗率	0%	-	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	新資料展示室に休憩コーナーを併設することにより、総合文化会館の来館者が展示室を気軽に利用し、展示資料への興味・知識を深めるとともに、憩いのスペース・交流の場となることが期待される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 郷土出身の作曲家の資料展示室であり、市民から整備を期待されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 現資料展示室・新資料展示室ともに市の施設であり、教育委員会が管理・運営している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 移転先が確保できたことにより、早期の整備が求められている。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 業務の内容から、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 全ての市民が利用できることから、公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 資料展示室が移転先に新しく整備されることにより、利用者が増加することが期待される。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業推進を図るとともに、休憩コーナー等を併設するなどの調査・研究を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 展示資料への興味・知識を深められるよう整備するとともに、市民の交流の場となるよう調査・研究を進める。